

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホームグリーンヒルみふね  
 作成日：平成24年2月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念の共有と実践	地域密着型サービスとして事業所の理念を地域の方と共有し、ホームの姿勢や方向性の啓発に努める。	年度初めの運営推進会議等で参加者に向け、理念を紹介する。	3ヶ月
2	35 (13)	災害対策	災害時の地域との協力体制の構築	次回の避難訓練で地区の区長さんに参加していただくよう依頼する。	1ヶ月
3	33 (12)	重度化や終末期に向け他方真の共有と支援	終末期支援について職員が認識し、利用者・家族からの信頼を得る取組み。	母体である特養のもので勉強会を行い、グループホームに添った基本指針を作成する。	nおお
4	45 (17)	入浴を楽しむことができる支援	排泄用品の収納にも配慮した入浴支援。	脱衣所の棚に置いてある排泄用品の収納容器を工夫する。	すでに行っている
5	52 (19)	居心地の良い共有空間づくり	利用者にとって不快や混乱をまねかないように、居心地良く過ごしていただく。	リビングルームでは流す音楽の音量や時間について配慮する。	すでに行っている
6	40 (15)	食事を楽しむことのできる支援	利用者と職員と一緒に楽しい食事の時間を持つ。	食事のエプロン使用時は緩みをもたせて使用していただく。	すでに行っている

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。